

# 第 1 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和4年4月13日（水）

開催時間 午後 3 時 30 分から午後 4 時 15 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 手島 俊樹  
教育長職務代理者 佐藤 喜美子  
教育長職務代理者 岡部 和子  
委員 松坂 浩志、小澤 幸子、長澤 重俊

出席職員 教育次長 降籬 友宏  
教育監 萩原 章司  
教育監 市川 敏也  
理事 藤原 鉄也  
次長（総務課長） 河野 公紀  
教育企画室長 望月 勝一  
義務教育課長 秋山 克也  
高校教育課長 高見澤 圭一  
生涯学習課長 成島 仁  
企画調整主幹 白須 慎一  
総務課課長補佐 前島 宏文  
総務課主査 新海佐貴子

高校教育課  
副主幹・指導主事 樋口 繁章  
主査・指導主事 窪田 幸彦

傍聴人 1 名

報道 0 名

会議要旨

## 〔 教育長開会宣言 〕

議案第1号、第4号及び第5号については、個人情報に関する案件である旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

## 1 議 案

第 1 号 令和4年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について

〔説明〕 義務教育課

（非公開：会議の要旨）

令和4年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について、選定審議会の設置根拠や構成人数等に関する説明、委嘱・任命する委員名簿の提示があり、全委員の賛同により原案どおり決定された。

【原案どおり決定】

第 2 号 令和4年度山梨県教科用図書選定審議会に諮問する事項について

〔説明〕 義務教育課

- 佐藤委員 1点、お願いします。  
採択の基準の作成ということで、視野に入れていただきたいなと思うことがありまして。子ども達が日々毎日見る教科書の影響力というのはとても大きいと思うんですね。そういう中で、ジェンダーフリー、アンコンシャスバイアス、多様性の尊重について、学年が下の方の子ども達からそういう教材に触れること、そういうことも大事だなと思うので、本来の特別支援の趣旨にプラスして、少し考慮されるといいなということをお願いしています。もし可能であれば是非お願いします。
- 秋山課長 基準作成の際に、考慮させていただきたいと思います。
- 岡部委員 特別支援の関係なんですけれど。私も携わったことがあります。拡大するようなものも、この中には入っているのでしょうか。
- 秋山課長 特別支援の場合につきましては、検定するような教科書以外に一般の図書全てが採択になりますので、毎年毎年全ての図書が採択の候補に入っています。
- 岡部委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

【原案どおり決定】

第3号 県立ろう学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置について  
〔説明〕 高校教育課

- 佐藤委員 お願いします。  
積極的に、ろう学校がコミュニティ・スクールの設置を行うということは非常に素晴らしいなと思いました。各関係機関と連携してより良い教育の実現のためにということで、すごくこの趣旨に則って良い取り組みだと思いました。身延高校、白根高校、吉田高校が先んじてコミュニティ・スクールのスタートしているわけなんですけれど、次年度以降の設置についてはその成果をということで今お話がありましたが、分かっている範囲で結構ですのでどんな成果が出ているのかということを少し聞かせていただけますか。
- 高見澤課長 学校で生徒が体験的な学習を取り組んだり、取り入れたりする際に、その地域の方にご協力いただく中で、関係する機関、運営協議会に係わっているとところから更に窓口が大きくなるようご協力いただくなどしております。
- 佐藤委員 そうですよ。昨年度一日教育委員会の第2分科会に松坂委員と出席して、その内容がホームページにもアップされているところなんです。高校の先生が、学校と地域との窓口が必要であるとおっしゃっていました。今学校はいろんなことをやっていて、すごく多忙化が進んでいるので、窓口を学校がやるというような、なかなか新しいことに挑戦するというのが正直言って難しいかなというところなんです。学校の教員は異動があるので、全然知らない地域に行くと地域の人等も全然分からないので、その地域に根差した方で学校と地域を繋いでくれるような方がいればすごくありがたいなと思うという切実な意見が出ていました。そういう意見に応えるためにも、もう少し積極的にコミュニティ・スクールの努力義務ということなんですけれども、できるだけ進める方向に持っていったらどうかなということをおもいました。

- 高見澤課長 はい、ありがとうございます。
- 小澤委員 先行事例のことでもう少し教えてほしいんですが。このコロナ禍で人が対面で会うことが難しくなって、この学校運営協議会というのも開催が難しかったんじゃないかと思うんですが、実際どんなふうに運営されたのか、分かる範囲で教えてください。
- 高見澤課長 ろう学校は15名ですが、これまでの運営協議会で、ここまで大きな規模でやっている所はございません。他校は人数がそれほど多くなく、10名前後でございます。そのような状況で、その日にご参加いただける方というのもまた限られておりますので、空間を広く取りながら話し合いをしている場面がありました。オンラインというのは、聞いておりません。
- 小澤委員 そうですね。多分年齢も多様な方が、この委員の中には含まれるのだらうと思います。その多様性こそが大事だと思いますから、工夫しながら運営してほしいと思います。ありがとうございます。
- 高見澤課長 ありがとうございます。
- 岡部委員 教えてください。コミュニティ・スクールのメリットとかデメリットは色々あって、お互い理解し合いながら活性化するためにやると思うんですが、特にろう学校はかなり広範囲から、吉田の方からも来ているし、しかも年齢も幅が広くて、地域の方たちに被験者になってもらってマッサージをしたりとか、いろんなことをなさっているところがあって、大変これも地域住民が入るにはいいなということで私は納得はしているんですけども。ただ令和4年度がスタートしているにも関わらず、3月の段階に8日に申請書が出されました。3月の下旬にも私たちの教育委員会があったんですが、そこでこの話をなされれば、4月1日からスタートしている時に入学式にこの方たちも出たりとか、雰囲気とか、行事が今現在いっぱいあるので、そういう姿を見られて良いんですが、それが4月26日に初めて委嘱されているが、4月1日からでは駄目だったのかどうかということを教えてください。
- 高見澤課長 実務的な話で申し訳ございませんが、実は3月の終わりの教育委員会にお諮りするべく、この資料を用意しておりました。ただ、思い返していただくとお分かりになると思うんですが、3月の委員会の付議事項がいっぱいございました。内諾も得て動ける状態にありましたが、第1回の26日の運営協議会の会議まで具体的な動きがないということの確認もできておりましたので、この4月の教育委員会でお諮りすることでも間に合うということで、今お諮りしているところでございます。
- 岡部委員 はい、分かりました。ろう学校の生徒も少ないんですが、やはり来賓として行くということもあったり、そういう姿とか、やっぱり見たいなというのがあったので、思わず私は聞いたわけなので。よく理解しました。それで今佐藤委員がおっしゃったように、同じようなことを聞きたいんですけど、教育委員会にその教職員の任用に関して今回異動発表がありました。任用に対して、あるいは教育委員会にやはり意見を言いたいというような所は今まであったんでしょうか。白根高校や吉田高校は、1件もなかったんでしょうかという話だけです。学校長にはあるかもしれませんが、教育委員会にということですよ。
- 高見澤課長 年齢構成等で、これはどこの学校でも同じことだと思うのですが、若い教員の配置を望むというような意見は寄せられてはおります。

岡部委員 それに対して応えたということですね。

高見澤課長 はい。

岡部委員 分かりました。ありがとうございました。

教育長 提案の仕方等につきましては、学校に迷惑が掛からないような形で行って参りたいと思います。

長澤委員 私もちよつと教えてもらいたいんですけども。従来の学校の評議委員制度ってあるじゃないですか。私も甲府南高校評議委員をやったことがあるんですけど、それはもう全高校に設置されているんですか。その学校評議委員制度というのは全部の学校にあるんですか。

高見澤課長 評議員制度は全ての学校でございます。

長澤委員 今度はこれを10パーセント、4校ということですけども、身延高校、白根高校、日川高校が成果が上がっているという認識でいらっしゃるのであれば、そもそも従来の学校評議員制度と、このコミュニティ・スクールの一番の大きな違いというのは何か教えてもらいたくて。それで成果が上がっているのであれば、その従来の評議員制度ももっと早めに変更してきたらいいんじゃないかと私は素朴に思ったんですけど、何かそういうメリットもあるんでしょうか。

高見澤課長 従来の評議員制度につきましては、学校が行ったことなどについて説明して、それを評価していただくことが主で、今回のこの学校運営協議会は今資料で見えていただいたように、校長が運営の基本方針を説明して、そこに対して意見をいただいたりしながらお認めいただいて進めていくということが一番大きな違いになっております。

長澤委員 そういうことだったら評議員制度もそういうふうに変えていったらいいんじゃないかと思うんですが。そういう単純な質問なんですが。

高見澤課長 順次、評議委員会を今進んでいる学校4校は切り替えていっているところです。

長澤委員 ほかの学校は、まだそういう動きにならないということですね。

高見澤課長 そうですね。

長澤委員 そこがなぜかというのをちょっと聞きたいんですけど。

高見澤課長 先程からお話しているように、まだ運営協議会の成果があまり広まっていないので、具体的にこういう運営協議会を開くことによって学校の活性化に繋がっていると、生徒の活動にも変化が見られるというような先行事例を順次紹介しながら広めていきたいと考えております。

長澤委員 まだそういう段階だということですか。

降旗教育次長 少し補足をさせていただきますと、実は学校評議員制度と学校運営協議会制度は法律が違っております。学校評議員制度は学校教育法に基づいて学校の校長がご意見を聞きたいことについて伺って、それに対して色々なご助言をいただくという点に重きを置いている、というように学校評議員制度のイメージを持っていただければと思います。一方で、学校運営協議会、今回のこのコミュニティ・スクールの方は地方教育行政法という教育委員会制度の中の仕組みで、学校と地域と連携して学校が目指す教育目標を地域の人と共に共有を図って、共に学校をよくしていく仕組みとして導入されているものでございまして、今課長から説明がありましたように、各学校が目指す学校の運営基本方針であったり、学校運営の教育活動はこんなことをやっていますよという方向性について、あらかじめ地域等の代表の方、この方が評議員に該当するわけですが、この方に節目節目にご説明したり、意見を交換したりしながら、学校経営に生かしていくための仕組みとして導入されているものでございます。とても似ておりますが、動きとしては今説明とお尋ねがありましたように、このコミュニティ・スクールを増やしていきたい、どんどん増やすことによって学校経営を地域の皆さんの参画をしていただきながら進めていくよう、今本県でも進めようとしている方向だということをご理解いただけるとありがたいと思います。

長澤委員 法律が違うから、勝手にこれを切り替えていくわけにはいかないんですね。

高見澤課長 文科省の担当する局が違うなどという経緯があり、このような形で今動いている状況でございます。

教育長 いずれにしてもまだスタートして1年、2年というような状況の中で、成果をきちんとまだ整理ができていない面もあるかと思っておりますので、その辺りの整理を行い、また各校に周知をしながら今後の各校への展開の仕方等も併せて検討していければと思います。

#### 【原案どおり決定】

#### 第4号 指定管理者選定委員会委員の選定について（県立科学館）

〔説明〕生涯学習課

（非公開：会議の要旨）

指定管理者選定委員会委員の選定について（県立科学館）、選定委員の設置根拠や構成人数等に関する説明、委嘱・任命する委員名簿の提示があり、全委員の賛同により原案どおり決定された。

#### 【原案どおり決定】

#### 第5号 指定管理者選定委員会委員の選定について（県立八ヶ岳少年自然の家）

〔説明〕生涯学習課

（非公開：会議の要旨）

指定管理者選定委員会委員の選定について（県立八ヶ岳少年自然の家）、選定委員の設置根拠や構成人数等に関する説明、委嘱・任命する委員名簿の提示があり、全委員の賛同により原案どおり決定された。

#### 【原案どおり決定】

2 報告事項 な し

3 その他報告 な し

[ 教育長閉会宣言 ]

以 上